

胃がん検診の注意事項について

● 次の事項(1～18)に該当される方は受診できません。

内視鏡による検査の受診をお勧めします。ご了承ください。

1. 食道・胃・十二指腸を外科手術(腹膜鏡も含む)で**切除**された方
2. 消化管(食道・胃・十二指腸・小腸・大腸)の穿孔(穴があくこと)またはその疑いのある方
3. 消化管の急性出血のある方
4. 消化管の閉塞(ふさがること)またはその疑いのある方
5. 全身衰弱の強い方
6. バリウム・下剤に対し過敏症(アレルギー)のある方
7. 妊娠されている方、その可能性のある方(授乳中の方は受診可能)
8. 消化管を治療中の方(胃・十二指腸潰瘍、虫垂炎、憩室炎、潰瘍性大腸炎、クローン病、腸重積症、腫瘍、寄生虫感染、生体組織検査後間もない方等)
9. 自力での体位変換が困難な方、体を保持できない方
10. 日常的に飲食時にむせる方
11. 現在治療中の病気があり、水分摂取制限を指示されている方
12. 激しい腹痛などの症状がある方
13. 日常的に強度の便秘のある方、または以前にバリウム便が出ず、浣腸をしたり医療機関を受診された方
14. 電解質失調(特に低カリウム血症)のため、下剤の使用制限を指示されている方
15. メニエル症候群等めまいのある方、身体を回転させることのできない方
16. 上の血圧が 200mmHg 以上、または下の血圧が 110mmHg 以上の方
17. 腎臓病などで人工透析中(血液透析・腹膜透析)または水分制限のある方
18. 体重が 135 kg以上の方

● 次の事項(19～26)に該当する方は**主治医の許可が必要**となります。許可がない場合、受診できません。あらかじめ主治医の許可を受けてください。(腸閉塞や腹膜炎を起こす可能性があります。)

19. 小腸・大腸(虫垂を含む)の外科手術(腹膜鏡も含む)を受けられてから初めてバリウムの検査を希望する方(そけいヘルニアの手術はこの項目に含まれます。)
食道・胃・十二指腸を外科手術(腹腔鏡も含む)で切除している場合は上記文章 1 に該当するため受診できません。
20. 消化管以外で腹部の手術を受けた方で、経過観察をされている方(胆のう手術はこの項目に含まれます。)
21. 内視鏡による消化管の手術、生体組織検査をして 3 か月経っていない方、または経過観察されている方(胃・大腸のポリープ切除はこの項目に含まれます。)
22. 消化管の狭窄またはその疑いのある方
23. 腸管憩室・そけいヘルニアを指摘されている方
24. 腸重積、腸閉塞にかかられたことのある方
25. 通院・服薬されている方は、お薬の服薬方法や注意事項等を主治医にご確認ください(食事制限や水分制限があるため。)
26. てんかん治療中の方、および症状のあった方

※検査後に急な腹痛などの症状が出た場合、**直ぐに医療機関を受診**していただくようお願いいたします。

<バリウムの副作用についてご承知ください>

ごくまれにバリウム製剤による次のような副作用が発現することがあります。

・ショック、アナフィラキシー様症状

バリウム服用後、じんましん、気分が悪い、顔色が青白い、手足が冷たくなる、喉が詰まる、息苦しい、息がしにくい等の症状が発現。このような症状が現れたら、直ぐに医療機関を受診してください。

・消化管穿孔、腸閉塞、腹膜炎

バリウムが腸管内に滞留することで、まれに消化管穿孔、腸閉塞がおこり、その結果として腹膜炎を併発し重篤な症状になることがあります。この様なことにならないためには、検査後にできるだけ**早くバリウムを排泄する必要があります。**

そのため、検診終了時にお渡しする注意書き『胃がん検査後の注意事項について』に従い、**必ず**下剤服用・水分摂取をしてください。

また便秘気味の方は事前に必ず申し出てください。

<検査を受けるための準備について>

・食事、水分、たばこの制限について

(以下のもの以外を摂取させた場合、受診することができません)

	食事・たばこ	水分摂取	内服薬
午前受診	検査前日の夜 10 時以降は食事はしないでください。たばこも吸わないでください。	水に限り検診開始時刻の 2 時間前まででしたら飲んで頂いてかまいません。ただし一度に大量に飲まないでください。目安としては 1 時間ごとにコップ 1 杯 (200ml) 程度にしてください。	事前に主治医とご相談ください。
午後受診	検査前日は夜 12 時までに食事を終わってください。検査当日は朝 7 時間で何もついていないトースト 1 枚とミルクの入っていないコーヒーまたは紅茶、お茶に限り摂っていただいてもかまいません。たばこに関しては、朝 7 時以降は吸わないでください。		検査当日服用する必要がある場合は、2 時間前までにコップ 1 杯(200ml)以内の水でお飲みください。

・検査時の服装について

検査時は上半身・下半身共に、ボタン・ファスナー・ホック・等、金属やプラスチックのない服装でお願いいたします。例として、服装の上下が T シャツとジャージの様なものであれば、その服装で撮影できますので、ご持参ください(ブラジャー・ボディースーツは取っていただきます)。

<検査後(バリウム服用後)の注意>

・下剤服用・水分摂取について

検査後にお渡しした**下剤**は、必ず**できるだけ早く、多くの水で服用**してください。帰宅後もできるだけ多くの水分をとってください。食事に関しては検診終了後、直ぐに食べていただいて結構です。

バリウム便が排泄されない場合や持続する便秘、急な腹痛などの症状が現れた場合には、直ちに医療機関を受診してください。

なお、授乳中の方は検査時にスタッフに申し出ただけければ、乳児に影響を与えない下剤をお渡しします。